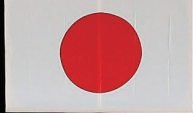


第3回



大学太鼓フェスティバル



2018年8月30日(木)

開場 17:30 開演 18:00

文京シビックホール 大ホール

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21 Tel. 03-5803-1100

主催:  [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

協力: 株式会社 宮本卯之助商店

【お問合せ】

共催: 大学太鼓フェスティバル実行委員会

協賛: Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

(公財) 日本太鼓財団: Tel. 03 - 6205 - 4377 Fax. 03 - 6205 - 4378 E-mail: info@nippon-taiko.or.jp

大学太鼓フェスティバル実行委員会: E-mail: daigakuwadaiko@gmail.com

ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団

会長 松本 英昭



このたびの「平成 30 年 7 月豪雨」災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

公益財団法人日本太鼓財団では、現在 41 都道府県に 45 支部を設立し、加盟団体数 700 団体、会員総数 2 万人を数えております。

今年の主な活動としましては、3 月に石川県において、次代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的に「第 20 回日本太鼓ジュニアコンクール」を開催いたしました。昨年に引き続きブラジル、台湾に加え、アルゼンチンチームが特別演奏として出演しました。国内外の予選にはブラジル、台湾の海外チームを含め、536 チーム 5,704 名が出場、本選では全 60 チームが日頃の練習の成果を競い合い、大分県の「三代目源流少年隊」が初優勝を果たしました。なお、この大会の様子はインターネット配信により、全世界に中継されました。

今後も、10 月に東京都文京区で障害者チームによる「第 20 回日本太鼓全国障害者大会」、大分県大分市での「国民文化祭・おおいた 2018 太鼓の祭典」、11 月には東京都浅草において「第 2 回浅草太鼓祭」をそれぞれ開催いたします。

このように、日本太鼓が脚光を浴びるなか、大学太鼓チームによる本フェスティバルを開催できますことは大変喜ばしいことであります。

お忙しい中ご来場くださいました皆さまには、太鼓の力強い響きに加え、大学生たちのひたむきで若さ溢れる演奏による日本太鼓の魅力を最後までごゆっくりとお楽しみいただきたいと存じます。

最後になりましたが、本開催にあたり、共催の大学太鼓フェスティバル実行委員会並びにご支援ご協力をいただきました株式会社宮本卯之助商店をはじめ関係各位に心から感謝いたしますとともに、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げご挨拶といたします。

ご挨拶

大学太鼓フェスティバル実行委員会
実行委員長 音間 大誠



本日は「第3回大学太鼓フェスティバル」にご来場いただき誠にありがとうございます。「大学太鼓フェスティバル」は公益財団法人日本太鼓財団様及び株式会社宮本卯之助商店様のご協力のもと、2016年より始まった学生団体合同コンサートです。今年は全国から大学生チームが12団体、ゲストとして4団体がこの文京シビックホールに集い、力強く太鼓を打ち鳴らしていきます。

日本の伝統的文化の一つである太鼓は、高校生や我々のような若い世代が積極的に学び、盛り上げていくことによって、次の世代へ繋がると考えております。おこがましいことではございますが、このイベントが、先人たちの築き上げてきた和太鼓の文化を若い世代へ普及し、より発展させるための一つのきっかけになればと思います。

2020年に控えております東京オリンピックにより、日本の文化は一層注目されることになると思います。その中で我々のような若い世代がどれだけ太鼓や日本の文化の魅力を発信することが出来るかが、今後の太鼓界の発展の鍵になるはずです。そのためにも我々はこのイベントを通じて、太鼓の魅力を存分に発信して参りたいと思います。

最後になりましたが、本公演の開催にあたり、ご支援ご協力いただきました公益財団法人日本太鼓財団様及び株式会社宮本卯之助商店様をはじめご関係の皆様へこの場をお借りして御礼申し上げます。

ご 祝 辞

株式会社 宮本卯之助商店

代表取締役社長 **宮 本 芳 彦**



「第3回大学太鼓フェスティバル」が、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。「大学太鼓フェスティバル」は、18歳までの少年少女が出場する公益財団法人日本太鼓財団主催の「日本太鼓ジュニアコンクール」に続く太鼓活動として大いに期待されるところであります。また、関東近県から全国各地へと参加団体も増えてきており、本フェスティバルをきっかけに、そして太鼓を通じて、参加者の皆さんに多くの仲間ができることを大変嬉しく思います。

日本太鼓は、日本発祥の芸能としては最も世界中に愛好者の輪が広がっている芸能と言えます。2020年に開催される東京オリンピックを控え日本文化に注目が集まる昨今、この国の次代を担う大学生達の太鼓活動の発展は国際交流の観点からも大変意義深いものだとは考えております。本日も来場の皆様におかれましては、出演者の大学生達にあたたいご声援と今後のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、公益財団法人日本太鼓財団の皆様のますますのご発展と、関係者並びにご来場の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしましてお祝いのことばといたします。

第3回大学太鼓フェスティバル・プログラム

The 3rd University Taiko Festival

■ 開会式

■ 演 奏

1. 文教大学 和太鼓部 楓 (神奈川県)
Bunkyo University Taiko Club Kaede from Kanagawa
2. 西武文理大学和太鼓クラブ 鼓月 (埼玉県)
Bunri University of Hospitality Taiko Club Kotsuki from Saitama
3. 神田外語大学和太鼓サークル 神樂 (千葉県)
Kanda University of International Studies Taiko Club Kagura from Chiba
4. 多摩美術大学 鑑水太鼓 (東京都)
Tama Art University Yarimizu Taiko from Tokyo
5. 立教大学 邦楽サークル「合唱団アヒル会」 (東京都)
Rikkyo University Hogaku club “Ahiru-kai Chorus” from Tokyo
6. 洗足学園音楽大学 和太鼓部「鼓弾」 (神奈川県)
Senzoku Gakuen College of Music Taiko Club “Kodama” from Kanagawa
7. 田中孝記念立教大学
コミュニティ福祉学部和太鼓プロジェクト 絆の会 (埼玉県)
Tanaka Takashi memorial Rikkyo University
Faculty of community and Human Services from Saitama
8. 立命館アジア太平洋大学和太鼓 “楽” (大分県)
Ritsumeikan Asia Pacific University Taiko Club “Raku” from Oita
9. 京都造形芸術大学 和太鼓 恵 (京都府)
Kyoto University of Art and Design Taiko Shin from Kyoto
10. 日本体育大学 伝統芸能・和太鼓 同好会 (東京都)
Nippon Sport Science University Taiko Club from Tokyo

- | | | |
|-----|---|-------|
| 11. | 中央大学和太鼓サークル 鼓央
Chuo University Taiko Club Kou from Tokyo | (東京都) |
| 12. | 武蔵野大学和太鼓 隼
Musashino University Taiko Club Hayabusa from Tokyo | (東京都) |
| 13. | 三代目源流少年隊
Third generation Genryu Shonen-tai from Oita | (大分県) |
| 14. | 倉敷天領太鼓
Kurashiki Tenryo Taiko from Okayama | (岡山県) |
| 15. | 八丈太鼓六人会
Hachizyo Taiko Rokuninkai from Tokyo | (東京都) |
| 16. | 橘太鼓「響座」
Tachibana Taiko “Hibikiza” from Miyazaki | (宮崎県) |

■ フィナーレ (合同演奏)



文教大学和太鼓部 楓は、文教大学湘南キャンパス(神奈川県茅ヶ崎市)を拠点とし、小学校や老人ホーム、お祭りなど各地イベントでの出張公演を行っています。総員 27 名で活動しており、今年で設立 14 年目を迎えました。

楓はキャリアも多彩、個性溢れるメンバーで構成されていますが、先輩方から代々受け継いだ伝統を私たちの色で表現することを持ち味とし、部員全員が家族のように一つとなって演奏することを大切に、日々活動に取り組んでいます。私たちにいつも温かなエールを送って下さる地域の皆様、そして本日呼び出して下さった関係者の皆様、ご来場の皆様に深く感謝申し上げます。

今日という一日を、部員一同心より楽しみに練習に励んで参りました。皆様に笑顔をお届けられるよう、明るく楽しく演奏させていただきます。

代表者 林 花音

齊藤 瞳	佐藤 梨央	三村恵里奈	深山 星奈	平野 祐哉
天野 祥吾	大八木裕介	飯塚 音和	阿部 佳苗	山下 嵯代
大竹 俊輝	鄭 海永	白田晏結美	菊池 智也	



皆さんこんにちは！

私達、西武文理大学和太鼓クラブ鼓月は三年前に結成したまだ若いサークルです。普段は主に学内行事や他団体様とのコラボ、地域のイベント等で演奏をしています。

その中でも大学太鼓フェスティバルは今まで3回参加させていただいています。大学太鼓フェスティバルは年を追うごとに大会の規模が大きくなっていくのを実感し、1番思い入れがあって今となっては一番楽しみにしている本番です。

今回は二曲披露する予定で、そのうちの一曲は新曲でなおかつ出演者全員で演奏します。新入生も演奏するので緊張と期待をしたいと思います、若い団体なのでその若さで来ていただいた皆さんのエネルギーになれるように精一杯演奏します！宜しくお願い致します。

代表者 大野 奨

小原 巧 美田成瑠斗 金子 幸恵 後藤 美侑 折井 宥太

倉地由紀乃 片野坂悠美 野澤 大希 石黒 紗衣 管野 真衣



こんにちは、神田外語大学和太鼓サークル神樂です。私たちは2016年に発足したばかりのサークルで、現在1年生から4年生合わせて22名で活動しています。主に学内でのイベントや地域でのお祭りで演奏をさせていただいています。また、2017年には学内のよさこいやフラメンコサークルとコラボ演奏をしたりと、和太鼓のみならず他の踊りや楽器と共に演奏することで、より多くの人に和太鼓の魅力を知っていただけることを目標に日々練習に励んでいます。

私たちは伝統的な曲だけではなく自分たちでオリジナルの曲を作ったりと、学年関係なくみんなで試行錯誤しながら楽しく活動しています。本日演奏する曲も自分たちで作った曲となっています。笑顔やかけ声をモットーとした“神樂”の魅力を少しでも知っていただけたら幸いです。

代表者 泉田 菜緒

井上 知香 伊藤 裕奈 林 ひな乃 井上あかね 中村 稜太

栗生田里子 山倉 友海 鳥海 里奈 横山菜々子 滝口 孝太

加藤 美桜



皆さんはじめて、多摩美術大学 鍵水太鼓です！

今年で創立 18 年目を迎えました。

鍵水太鼓は、和太鼓奏者であり映像演劇作家のほしのあきら先生に指導して頂き、ほしの先生が作曲した曲を主に演奏しています。

伝統太鼓とは違う、創作和太鼓。

自分の個性を存分に出せる、自己表現できる、そんな団体です。一人一人の違った叩き、それぞれの魅力、その一つ一つが一体となりこの場の“音”を作っていきます。

鍵水太鼓の演奏を、あなたの耳に、目に、心に、贈ります。

代表者 弓削田 天

笹山由香理 栗田いずみ 曾根 響 菅野さくら 中根由貴奈
東郷 渚 南雲 未希



合唱団アヒル会は、60年以上の歴史を持ち、日本民謡における三味線などの和楽器の演奏を中心に活動しているサークルです。数年前から和太鼓の演奏も始め、現在では週2回の練習の他、和太鼓奏者の「鷹 -TAKA-」さんから月2回の指導を受け、技術向上に励んでいます。今回演奏する曲「大地響乱」は先生のオリジナル曲となっています。大地の響きが共鳴し合う様子を精一杯表現します。

少ない人数ではありますが、だからこそできる演奏スタイルで、アヒル会らしい音を奏でます。個々の技術の光る演奏をどうぞお楽しみください。

代表者 小久保宏務

竹澤優希乃 若山恵利花



私たち鼓弾は、洗足学園音楽大学の打楽器コースに所属している生徒を中心に結成されている部活です。

今年度は他コースからの新入生や洗足学園こども短期大学からの生徒も入部し、総勢25名で活動しています。

大学内で演奏会を開催したり、本大学付属の幼稚園で子供達に和太鼓を指導したり、外部での演奏会に参加させていただいたりと盛んに活動していますが、現状に満足せず多くの人に和太鼓の魅力を伝えられるよう活動していこうと思っています。

講師には世界的和太鼓奏者である林英哲先生を迎え、年に数回講座を開催していただき、演奏技術だけでなく所作や基礎体力づくりのトレーニングまでたくさんのことを指導していただいております。

本日、このような演奏会に参加させていただいた事に感謝申し上げます。

代表者 谷口 実里

加賀美 諄 望月 優 吉野 海美 角田 和渉 島津 翠
田代ひより 小松 幹 半田 柊成 森 奈那子



私たちのプロジェクトは、「立教大学コミュニティ福祉学部『田中孝奨学金(震災)および(児童養護)』」の寄付者である田中孝様からのご支援をお受けし、日本の伝統文化の一つである和太鼓の演奏を通して震災復興支援を含め、人々を、元気づけることを目的として2016年11月に創設されました。

立教大学新座キャンパスのある新座市の隣、和光市で活動され、全国トップクラスの実力をお持ちの「和太鼓会和光太鼓」さんにご指導を頂きながら、創設以来、新入生歓迎のイベントをはじめ、立教大学のサテライトキャンパスがある岩手県陸前高田市での演奏、留学生の体験プログラムなど、和太鼓を通して様々な方々との交流の機会を持つことができました。今年度は学園祭への出演等、新しい発表の機会を増やしていき、少しでも元気をお届けできれば幸いです。

代表者 三本松政之

中村 真博 和嶋美莉奈 小野あすか 佐々木綾乃 浅野亜由美



こんにちは！大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学からやってまいりました和太鼓“楽”です。私たちは自分たちが和太鼓を演奏することを楽しみつつお客さんにも楽しんでもらうことをモットーに別府市内を拠点に活動を行っております。またメンバーの半分が国際生という国際色豊かなサークルでもあります。メンバーの殆どが大学に入ってから和太鼓を始め、沢山沢山練習を重ね、みんな本当に上手くなります。私達は楽しい時、辛い時、様々な時を共に過ごしています。まるで大きな家族のようなサークルであると言えます。

今回、演奏させていただく曲は風という演目です。穏やかな風、心地の良い風、力強く吹く風、そのように常に変わりゆく風を、太鼓と笛のハーモニーで表現しました。

風のように流れ、移り変わる太鼓の鼓動と笛の音色をお楽しみください。

代表者 佐々木すみれ

小林 楽 高野 太輝 宮下 怜奈 小野 夢華 芝崎 智暉
高橋 諒 ジャン・シホン 六田 拓洋 リ・シャンロン



学校法人瓜生山学園(京都芸術デザイン専門学校、京都造形芸術大学、京都文化日本語学校)の学生により構成されている和太鼓サークルで、1994年に結成され、現在に至ります。関西を中心に年間数々のイベントに出演し、過去にはチェコやイタリアなどにおいて、海外公演も行いました。

技術だけでなく、『心・技・体』をテーマにメンバー全員がお互いの気持ちを理解し合い、自分自身への挑戦に向けて日々練習に励んでいます。

本日演奏させていただく曲は、私たち恵のオリジナル曲、「響和(ひびき)」です。

生きていること、生かされていることを喜びとし、今できる事に真っ向からぶつかっていく。心をひとつにし、力強いエネルギーの表現を目指します。

代表者 宮下 幹汰

岡 優那	川瀬 美帆	道岡潮西樹	谷口 由佳	近兼 涼佳
鳥越みちる	藤本 渉	山本 直行	横山 綾佳	関 美穂乃
林 悠磨	平山 瑞季	本間 清廉	村田サスケ	



本学では、2000年に体育学部武道学科のコースの一つとして、伝統芸能コースが発足しました。それをきっかけとし2015年に有志が集まり、2016年に大学の準公認団体として伝統芸能・和太鼓同好会が認められるようになりました。

日本体育大学らしい元気でストイックな人が多く、迫力があり力強さが魅力の演奏を目指しています。

日本体育大学の学園祭である日体フェスティバルでは毎年演奏を行っており、オープンキャンパスでの演奏なども通じて活動の場を広げています。

今年度から「和桜(あいさ)」というチームの名前で活動をはじめました。和太鼓の「和」、日本の心である「和」と日本体育大学のシンボルである「桜」を合わせたことが由来です。

今回演奏する曲はチームの名前と同じ「和桜」という新曲であり、日本体育大学伝統芸能和太鼓同好会の伝統曲となるよう、日体大らしさと元気を最大限に引き出す曲となっています。

代表者 吹場 千珠

畑中 友里 岩沢 佑香 大瀧三奈実 清水 言 阪口 夏未

竹本 彩乃 石綿 将希



鼓央は2004年に発足した、中央大学公認の和太鼓サークルです。愛知県の三ヶ根山に存在した三州園ホテルで毎夜演奏されていた和太鼓「三州園太鼓」をルーツにしています。

バチを投げたり回したりする華麗なバチさばきや、息の揃った動きを強みとする我々は、三州園太鼓という基盤の上にメンバーひとりひとりの創造性を乗せ、「鼓央」独自の和太鼓を演奏することを目指しています。

代表者 日高あきら

東	樹	大沼	裕実	市橋	遙	齊木	優花	林	茉那
伊藤	泰平	大村	葵	北島	佳織	坂下	優也	名雪	智貴
原田	拓実	有賀	友哉	本田	麻優	野宗	芽以		



武蔵野大学和太鼓隼は、2012年に設立され、現在3年生13名、2年生15名、1年生16名の合計44名で活動しています。今年度で7年目に突入し、2017年に同好会から部に昇格しました。学校の行事だけでなく、地域の老人ホームや小学校でのイベント、都内での演奏会などにも参加し、活動の場を広げています。

隼という団体名は創立者の名前の一文字をとって、創立当時から「一打一打に想いを込めて打つ」ということを大事にして現在まで受け継いできました。今日、演奏させていただく鼓動という曲は、その伝統を最もよく表している曲となっています。この鼓動という曲は心臓が激しく鼓動する様子を太鼓の響きで表現しています。初代から受け継いだこの曲を私たちにりに演奏します。

代表者 相原 朋美

三和	海斗	小園	芙美佳	我山	光太郎	橘	佑夏	沼田	颯
阿部	純花	葛野	香奈	藤尾	沙羅	植村	遥	加倉井	新
笹谷	泰生	松本	茉莉	小原	千穂	小松崎	真由	君塚	きよ佳
安川	優紀	稲益	聡美	富満	安樹	堀	萌子	長島	未来
藤原	くるみ	内藤	洋太	小貫	淳	清水	大樹	村上	琴子



三代目源流少年隊は、2015年文化庁伝統文化親子教室事業の「太鼓教室」として発足しました。由布市無形文化財「豊の国ゆふいん源流太鼓」の指導を受けています。「使わない鉄が錆びるように活動しないことは知性を損なう」を心がけ、人として心を磨くことも日々指導していただいています。

少年隊は、「はい」という素直な心、「ありがとうございました」という感謝の心を忘れず、これからも活動していきます。

三代目源流少年隊は、今年3月25日石川県金沢市で開催された「第20回日本太鼓ジュニアコンクール」(予選参加536団体、5,704名)で、見事優勝に輝きました。

すべての物・事・人に感謝して、本日「天地源流」を打ちます。更なる高見をめざして精進していきます。

代表者 城内 三美

長谷川 凌 阿部 結菜 嘉手川ゐなせ 迫 芽吹 阿南 晴大
藤田 桜 高森 雄太 本田 真子 高森 唯



1972年(昭和47年)、小山 寛を中心に発足しました。「倉敷から全国へ、そして世界へ」を合言葉に常に太鼓と真摯に向き合っています。

毎年の定期公演やコンサートを始め、学校公演での芸術鑑賞、各種イベント、各地での祭り等、様々な活動を行っており、県内はもとより、県外、また海外公演を含め年間50～60公演を行っています。

倉敷天領太鼓の名前は、倉敷がその昔、江戸幕府直轄の支配地「天領」であり、住民はこの天領であることを誇りとしていたことに由来します。発足する際にこの誇りを胸に地域に根ざした和太鼓団体にし、唯一無二の和太鼓を魅せれる団体にしようと命名しました。

代表者 山部 泰嗣
浅野 祥 前田 剛史 石垣 征山



八丈太鼓としては、全日本太鼓連盟結成時に加入し、島内外で活動してきたが、出演依頼等が多くなり島外で出演できるグループを結成してはと！八丈太鼓六人会は、1981年（昭和56年）太鼓好きの青年たちによって結成されました。

結成当時メンバーが6名だったので、六人会の名称となりました。

現在メンバーは12名で、国内外を問わず広く演奏活動に参加しています。

八丈太鼓は、そのシンプルさと自由奔放に、現代風に言うとアドリブで打ち鳴らす形・打法（1台の太鼓を表は自由に、裏は一定のリズムを）が他の地域では見れないもので、「譜面等書き表すことが出来ない」「個人個人で打ち方が異なる」「体調・気分によっても」といったような特徴があり、日本の太鼓の中でも独特の位置付けをされています。

代表者 菊池 修
山下 隆二 阿久津文彦



古来より、日本の音、文化の魂として鳴り響き続けている和太鼓。

今、日向の国の若者たちが故郷宮崎の自然や歴史・文化・人の心を音に託し、力強い鼓動を伝える。

それは、大地に降り注ぐ太陽の音

それは、青く澄み渡る大海原のつぶやき

そして、それは彼方に聞こえる古の調べ

橘太鼓「響座」は、平成の新しい歴史を築き上げようと、日向の鼓動を打ち鳴らす。

代表者 岩切 邦光

岩切 響一 山床 海 山床 風 津郷 良執 今村 脩哉

宮原 直樹 吉野 真吾 田伏 慧多 川野 太陽

2018年度の事業活動予定

■第22回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2018年5月31日(木)
場 所：草月ホール(東京都港区)
共 催：一般社団法人日本賢人会議所
出演団体：6団体

■第20回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2018年10月7日(日)
場 所：文京シビックホール(東京都文京区)
共 催：社会福祉法人富岳会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：31団体

■第33回国民文化祭・おおいた2018「太鼓の祭典」

期 日：2018年10月14日(日)
場 所：J:COM ホルトホール大分(大分県大分市)
共 催：文化庁、厚生労働省、大分県、大分県教育委員会、大分市、大分市教育委員会、
第33回国民文化祭大分県実行委員会・第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、
第33回国民文化祭・第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会、
公益財団法人日本太鼓財団
主 管：全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部、大分県太鼓連合
出演団体：33団体

■第2回浅草太鼓祭

期 日：2018年11月3日(祝・土)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：20団体程度

■第15回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2018年11月25日(日)
場 所：白山市松任文化会館(石川県白山市)
主 催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、
一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

■第21回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2019年3月24日(日)
場 所：けんしん郡山文化センター(福島県郡山市)
主 管：東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部
出場団体：60団体程度

■日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会&資格認定事業) 日本太鼓全国講習会

第62回日本太鼓全国講習会 2018年6月2日(土)・3日(日) 群馬県藤岡市
第63回日本太鼓全国講習会 2018年9月22日(土)・23日(日) 愛知県西尾市
第64回日本太鼓全国講習会 2019年2月16日(土)・17日(日) 熊本県宇城市

第3回大学太鼓フェスティバル実行委員会名簿

顧問：加藤 雄大（「太鼓芸能集団 鼓童」研修生）

実行委員長：音間 大誠

委員：平野 祐哉

委員：大久保佑亮

委員：三嶋 祥大

委員：西田明日海

委員：石綿 将希

第4回大学太鼓フェスティバル 開催予定

日時：2019年8月29日（木） 開場 17:30 開演 18:00 終演 21:00

会場：文京シビックホール 大ホール

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21 (Tel. 03-5803-1100)

出演：15 団体程度

主催：公益財団法人日本太鼓財団

共催：大学太鼓フェスティバル実行委員会

協力：株式会社宮本卯之助商店

協賛：日本財団

募集・お問合せ先：公益財団法人日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-11-2 日本財団第二ビル 6 階

TEL: 03-6205-4377 FAX: 03-6205-4378

E-Mail: info@nippon-taiko.or.jp

ホームページ: <http://www.nippon-taiko.or.jp/>

公益財団法人 日本太鼓財団概要

<設 立 日> 1997 年 11 月 11 日

<公益財団移行日> 2012 年 4 月 1 日

<資 産> 基本財産 3 億円

<加盟支部数> 45 支部 (41 都道府県)

<加盟団体数> 700 団体

<会 員 総 数> 20,000 人

<役 員>	会 長	松本 英昭	(一社) 地方公務員共済組合協議会会長
	副 会 長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
	副 会 長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
	理 事 長	塩見 和子	常 勤
	常務理事	大澤 和彦	常 勤
	理 事	石井 幹子	(株) 石井幹子デザイン事務所代表取締役
	理 事	大宅 映子	評論家
	理 事	島津 久永	(公財) 山階鳥類研究所顧問
	理 事	中西 由郎	元 (公財) 日本ゲートボール連合専務理事
	理 事	山内 強嗣	(社福) 富岳会理事長
<評 議 員>	評 議 員	大竹 英雄	(公財) 日本棋院顧問 (名誉碁聖)
	評 議 員	岡田 知之	(公社) 日本吹奏楽指導者協会会長
	評 議 員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
	評 議 員	北村 汎	元駐英大使
	評 議 員	佐藤 淳子	(一財) ライフ・プランニング・センター理事
	評 議 員	高島 肇久	(株) 海外通信・放送・郵便事業支援機構 取締役会長
	評 議 員	濱田麻記子	(株) 林原チャンネル代表取締役社長
	評 議 員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長
	評 議 員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
	評 議 員	渡辺 貞夫	音楽家
<監 事>	監 事	長内 健	弁護士 長内法律事務所
	監 事	竹村 葉子	弁護士、三宅・今井・池田法律事務所

(敬称略)

今の足跡は未来につながります

日本財団遺贈寄付サポートセンターでは、遺言書により遺産を寄付する「遺贈寄付」に関することだけでなく、人生のしめくくりを安心して迎えるための相談について、専門家と連携して無料でサポートします。



資料請求、お問合せはこちらにご連絡ください。



0120-331-531

日本財団 遺贈寄付サポートセンター

検索





〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2
Toranomon 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp